

令和6年度 第3回大野市国民健康保険運営協議会 会議録概要

と き：令和7年2月20日（木）午後2時00分～3時00分
ところ：大会議室

1 開会

2 あいさつ

3 会議録署名委員の選任

4 議題

（1）令和7年度大野市国民健康保険事業特別会計予算（案）について（資料1～2）

【事務局説明】

【質疑応答】

委 員

これから先のことを考えると、今のうちに基金に積立をしておく必要があるかと思うが、積立額の上限はあるのか。

また、和泉診療所について、今後どういう形で継続されていくのか、お話できることがあればお聞かせいただきたい。

事務局

まず基金については、現在約7千万円の積立がある。上限などの基準は特にないため、基金保有額は各市町でバラバラである。令和12年に保険税が県内で統一されるが、市で集めた保険税が県に収める納付金に対して足りない場合、不足分を一般会計繰入金で補ってはならないとされている。そのため、今のうちにある程度積立をしておきたいと考えている。

次に和泉診療所について、国保特別会計から和泉診療所特別会計に約1千5百万円を繰り出しているが、これは国から特別調整交付金として入ってくるものを全額、国保特別会計を通して繰り出しているものである。和泉診療所は、令和5年11月に歯科診療所を閉鎖し、現在は内科だけとなっている。和泉地区の人口は400人程度ではあるが、一定の需要があり、今後も継続していく予定である。

— 全員一致で承認 —

（2）令和7年度和泉診療所事業特別会計予算（案）について（資料3）

【事務局説明】

【質疑応答】

委 員

中部縦貫自動車道の工事の関係で和泉地区に来られている方がいると思うが、そのような方の利用は多いのか。

事務局

特に健診に来られる方が多い。企業側が従業員に健診を受けさせる必要があるので、皆さん受けに来られる。その他にもインフルエンザなどの予防接種を受けに来られる方、慢性疾患を持っていて地元に戻られるまでの間に診療

所に通われる方もいる。現在は、工事関係者の来所はピーク時に比べると3分の2程度に減っている。

— 全員一致で承認 —

(3) 令和7年度大野市後発医薬品（ジェネリック医薬品）使用促進計画（案）について（資料4）

【事務局説明】

【質疑応答】

- 委員 薬の供給がかなり厳しく、医療機関で必要な分に対して足りていないのではと感じることがあるが、実際のところはどうか。
- 委員 手に入る薬と手に入らない薬があり、何が手に入るか状況が読めない。ただ、去年の10月から、患者本人の希望で先発医薬品を処方した場合、ジェネリックとの差額の4分の1を患者が追加で負担することになったので、先発医薬品が処方しにくい形にはなっている。とは言えジェネリックを処方したくても薬がないことはある。
- 委員 このような計画を作っても、市場の動向に左右されてしまうのが難しいところである。

— 全員一致で承認 —

5 報告事項

(1) 国民健康保険制度改正の動向について（資料5）

【事務局説明】

【質疑応答】

- 委員 高額療養費の限度額の引上げについて、世間ではいろいろな声があるようだが、もしかするとそれらを受けて見直しが行われることもあるのだろうか。
- 事務局 令和7年8月に予定している1回目の引上げについては、システム改修などのスケジュールを考えると、概ねこの通りになるのではないかと予想はしている。

6 その他

【事務局から、任期満了の案内とこれまでの御礼】

— 副会長 閉会のあいさつ —